

第 3 章 調査結果

3-1 西普天間地区基地内・周辺調査

1) 資料整理等調査

過年度に行われた「宜野湾市自然環境調査報告書」及び宜野湾市文化課などの既存資料を用いて、西普天間地区の自然環境に関わる資料調査等を行なった。

表 3-1-1-1～表 3-1-1-6 に概要を取りまとめた。

表 3-1-1-1 キャンプ瑞慶覧西普天間地区における文化財に関する文献資料の概要

項目	文献資料の概要	文献名
植 生	喜友名山川原第5遺跡一帯には、第二次世界大戦後の二次植生と思われる約5～6mの高さのオオバギ群落が斜面を覆い、一方で高木層のハゼ、ヤブニッケイ、ホルトノキが出現している。本植生地の特徴としては、隆起サンゴ石灰岩の植生にみられるナガミボチョウジ、シマイズセンリョウなどの低木層、草本層がみられる。	宜野湾市教育委員会 (1984) 喜友名遺跡群, 宜野湾市文化財調査報告書第5集, p8～13.
原 始・ 古代遺跡	1954年に喜友名貝塚、喜友名グスクが発見され、1982・1983年に喜友名山川原で7遺跡、同西原で1遺跡、同下原で2遺跡、新城下殿、新城下原、安仁屋殿山でそれぞれ1遺跡が見つかった。	宜野湾市教育委員会 (1984) 喜友名遺跡群, 宜野湾市文化財調査報告書第5集, p14～19.
古 墓	1982・1983年に発掘調査で喜友名山川原第5遺跡から25墓、同山川原一帯から6基の古墳、新城下原で6基の古墳が見つかった。	宜野湾市教育委員会 (1984) 喜友名遺跡群, 宜野湾市文化財調査報告書第5集, p20～23.
湧 泉	バシガーの泉は、落差をもつ後背を布積みの石垣で3段に分けて積み上げ、湧水口の樋から流れ落ちる水を生活用水、田畑に利用していた。	宜野湾市教育委員会 (1984) 喜友名遺跡群, 宜野湾市文化財調査報告書第5集, p24.
発掘調査	喜友名遺跡群は、基地内15遺跡と同一環境下にある基地外4遺跡を併せた19遺跡を指す。出土した室川下層式土器によって5,000年前と推定された1遺跡を始発とし、3,500～800年前の沖縄貝塚時代の土器などが11遺跡、グスク時代の土器や青磁碗など10箇所出土している。	宜野湾市教育委員会 (1984) 喜友名遺跡群, 宜野湾市文化財調査報告書第5集, p25～61.
埋蔵文化財	キャンプ瑞慶覧内の埋蔵文化財は29遺跡等があり、主なものは安仁屋トウンヤマ遺跡、喜友名山川原古墳群、喜友名山川原第5遺跡・第6遺跡・第7遺跡であり、貝類、土器、石器、獣魚骨などが出土している。	沖縄県教育委員会 (1998) 基地内文化財Ⅰ～宜野湾市所在米軍基地内埋蔵文化財分布概要～, p20～29.
埋蔵文化財	1998・1999年度のⅡ期にわたり65箇所の試掘を実施、5箇所にて遺構を検出し12箇所にて遺物包含層と考えられる土層を確認した。これらの試掘杭のほとんどが安仁屋トウンヤマ遺跡の範囲や縁辺に存在することから、追認や拡張すると思われた。これらの埋蔵文化財のうち、2箇所は新発見ものである。	沖縄県立埋蔵文化財センター (2002) 基地内文化財Ⅱ～基地内文化財分布調査概要～, p28～38.

表 3-1-1-2 キャンプ瑞慶覧西普天間地区における自然環境に関する文献資料の概要

項目	文献資料の概要	文献名
水系	キャンプ瑞慶覧内にあるイシジャーは、流路のほとんどが琉球石灰岩台地に形成されており、降雨を除くと、ふだん流水のない谷である。流水がないのは琉球石灰岩が透水層であるため、水が地下へ浸透する。トゥンヤマの対岸では安仁屋ハルガーの湧水が注いでいる。	宜野湾市教育委員会文化課 (2000)宜野湾市の地形・地質・水、宜野湾市史第9巻、資料編8自然、p55-124.
洞窟	キャンプ瑞慶覧内には洞窟が7箇所記録されており、入洞可能な洞窟はフトウケーブである。その他マヤーアブ、アジ墓、アジミー等については洞窟口の状態は不明である。	宜野湾市教育委員会文化課 (2000)宜野湾市の洞窟、宜野湾市史第9巻、資料編8自然、p125-188.
植生	キャンプ瑞慶覧内で確認された植物群落は、常緑広葉の先駆陽樹林のオオバギーアカギ群落、つる植物のヤブガラシノアサガオ群落、タイワンクス群落、放棄田跡地に湿性草本のタイワシアシカキ群落、セイコノヨシ群落、外来性のドブ川の草本のヤナギバルイラソウ群落であった。	宜野湾市教育委員会文化課 (2000)宜野湾市の植生、宜野湾市史第9巻、資料編8自然、p189-254.
鳥類	キャンプ瑞慶覧一帯の緑地で確認された鳥類は15科24種であり、基地内ではイシジャー周辺を中心にヒヨドリ、メジロの留鳥やサンコウチョウ、シロハラの渡り鳥など13科22種が確認された。	宜野湾市教育委員会文化課 (2000)宜野湾市の鳥類、宜野湾市史第9巻、資料編8自然、p357-392.
両生・爬虫類	キャンプ瑞慶覧周辺で確認されたのは、イモリ類1種、カエル類5種、カメ類3種、トカゲ類9種であり、希少種ではクロイワトカゲモドキ、シリケンイモリ、キノボリトカゲ、アマミタカチホヘビがみられた。	宜野湾市教育委員会文化課 (2000)宜野湾市の両生・爬虫類、宜野湾市史第9巻、資料編8自然、p393-440.
昆虫類	キャンプ瑞慶覧周辺で確認された昆虫類は、カゲロウ目2種、トンボ目のトンボ科、イトトンボ科など18種、直翅目のバッタ科、コオロギ科、キリギリス科など37種、カマキリ目3種、ナナフシ目3種、ゴキブリ目のチャバネゴキブリ科など9種、シロアリ目3種、異翅目のカメムシ科、ナガカメムシ科、メクラガメ科など42種、同翅目のセミ科、ハゴロモ科など19種、トビケラ目1種、鱗翅目のタテハチョウ科、シロチョウ科、アゲハチョウ科など57種、双翅目のハナアブ科、ユスリカ科など17種、アミメカゲロウ目4種、甲虫目のコガネミシ科、テントウムシ科、カミキリムシ科、ゴミダマシムシ科、ハムシ科など126種、膜翅目のアリ科、スズメバチ科など28種がみられた。	宜野湾市教育委員会文化課 (2000)宜野湾市の両生・爬虫類、昆虫類、宜野湾市史第9巻、資料編8自然、p441-572.
クモ類	キャンプ瑞慶覧周辺で確認されたクモ類は、コガネグモ科、カニグモ科、アシナガグモ科、ウズグモ科など47種がみられた。	宜野湾市教育委員会文化課 (2000)宜野湾市のクモ類、宜野湾市史第9巻、資料編8自然、p573-594.
甲殻類	イシジャーでは、トゲナシヌマエビ、チュンナーガーではミナミテナガエビが観察され、いずれも両側回遊性（海と川を行き来する）であった。	宜野湾市教育委員会文化課 (2000)宜野湾市の甲殻類、宜野湾市史第9巻、資料編8自然、p629-658.
貝類	キャンプ瑞慶覧のイシジャーで確認された淡水貝類は、フネアマガイが多産し、サカマキガイが普通にみられ、イシマキガイ、タイワンカワナが少ないがみられた。チュンナーガーの淡水貝類は、カワナ、タイワンカワナ、トガタカワナ、サカマキガイ、フネアマガイが多産するほか、オリイレサカマキガイが沖縄で初めて記録された。イシジャー周辺でみられた陸産貝類は、オキナワヤマタニシが多産するほか、シュリマイマイ、オキナワヤマタカマイマイ、アオミオカタニシが散見された。	宜野湾市教育委員会文化課 (2000)宜野湾市の貝類、宜野湾市史第9巻、資料編8自然、p659-743.

表 3-1-1-3 キャンプ瑞慶覧返還予定地区における文化財に関する文献資料の概要

項目	文献資料の概要	文献名
聞き取りによる重要な場所	湧泉：喜友名泉、アカンナー、ミーガー、ヒージャヤーガー、ハンガー、ヤマガー、シンバルガー、ノグニグワーヌメヌカー、イシジャー、ナカマグワーヌメヌカー 洞穴：フトウケアブ、マヤーアブ 森：ウィーストウン、シチャツストウン 水田：カヤモー 大松：ヤマガーマーチ、ミーガーマーチ、大岩：カンナシー	
戦前のキャンプ瑞慶覧地区のイメージスケッチ図	<p>・調査による戦前のキャンプ瑞慶覧地区返還予定地イメージスケッチ</p>	宜野湾市教育委員会 (2012) 平成23年度キャンプ瑞慶覧地区文化財調査について, p1~33.
市内外の文化財の活用や整備事例	南 城市：受水走水、垣花樋川、仲村綾樋川、番所公園、糸数アブチラガマ 糸 満 市：嘉手志川、与座川、浦添市：立津ガー 金 武 町：金武大川 宜野湾市：喜友名泉、ふんしんせせらぎ通り、大山ヒージャヤーガー、大山マヤーガマ 洞穴遺跡 北中城村：大城・荻道集落、荻道大城湧水群、喜舎場ウフカー公苑 本 部 町：大川 名 護 市：名護市中央公園せせらぎ広場 うるま市：仲原遺跡 那 覇 市：銘苅墓跡群 北 谷 町：伊礼原遺跡 沖 縄 市：泡瀬の拝所、湧泉	

表 3-1-1-4 キャンプ瑞慶覧返還予定地区におけるまちづくりに関する文献資料の概要

項目	文献資料の概要	文献名
過去と現在	戦前はのどかな農村地帯であった。 戦後は米軍に接収された。 SACO最終報告で返還が合意された。 返還について詳しいことはまだ決まっていない。 現在もまちづくり活動を継続している。	
まちづくり(区画整理)の必要性	多くの人が満足する環境をつくるためには、保全する場所と使えるようにする場所を計画的に考えていく必要がある。 土地を usable にするためには道路など「公共施設」が必要である。 計画的に公共施設を整備し、土地を usable にするためには「区画整理」が必要である	宜野湾市・宜野湾市軍用地主会 (2012) キャンプ瑞慶覧返還予定地区(宜野湾市部分)まちづくりハンドブック【入門編】, pp138.
まちづくりの進め方	宜野湾市全体を踏まえたまちづくり 本地区のまちづくり計画 まちづくりの計画を実現するための課題	
まちづくりの主役	地主やその家族のみなさん 周辺の住民のみなさん 市民のみなさん	
地主や市民の手始めの行動	本地区を「知る・学ぶ」こと 「個人の考えを伝える」こと 「みんなでまち全体のことを考える」こと	

表 3-1-1-5 キャンプ瑞慶覧西普天間地区における事業化検討業務に関する資料の概要

業務名	業務の検討概要	文献名
平成19年度瑞慶覧地区事業化実施準備業務	<p>第1章の「ぎのわん多自然型住宅地」の造成計画検討において、計画の概要、条件把握と問題点の抽出、造成計画の方策と検証、基本条件案、今後の検討事項</p> <p>第2章の瑞慶覧ハウジングエリアの開発モデル検討において、ハウジングエリアのイメージ作成、ニーズの確認、</p> <p>第3章のまちづくり施行主体の検討において、施行主体の事例、組合事業に対する助成、事業化スケジュール、今後の検討事項</p> <p>第4章のまちづくり区域の課題整理と方針において、返還予定区域からみる課題、地権者所有地の課題、区域設定の方針、今後の検討事項、</p> <p>第5章の10項目の課題の総点検と今後の方針において、特定跡地の指定、地区への立入、縦貫道路、公共用地の確保、財政支援、まちづくりの検討</p> <p>第6章の地権者合意形成活動において、まちづくり活動の実施、地権者アンケート（意向）調査、</p> <p>第7章の今後のまちづくり活動において、今年度までのまちづくりの検討、本地区の課題、今後の展開が示されている。</p>	宜野湾市（2008）瑞慶覧地区事業化実施準備業務報告書【概要版】，78pp.
平成20年度瑞慶覧地区事業化計画検討業務	<p>第1章の地権者合意形成活動において、各種活動の記録、地権者意向調査、</p> <p>第2章のアイデアコンペの開催において、コンペの概要、募集要項の作成、作品の募集・周知活動、入賞作品の決定、</p> <p>第3章のまちづくり体制の確立検討において、前提条件の整理と活用の方針、新しいまちづくりの体制のあり方、</p> <p>第4章のまちづくり資源の活用検討において、既存資源の整理と活用の方針、第5章の今後のまちづくり活動において、今年度の活動の総括、今後の活動における課題</p>	宜野湾市（2009）瑞慶覧地区事業化実施準備業務報告書【概要版】，44pp.

表 3-1-6 キャンプ瑞慶覧西普天間地区の重要文化財保全整備実施作成業務に関する資料の概要

業務名	業務の検討概要	文献名
平成19年度キャンプ瑞慶覧地区重要文化財保存整備実施計画作成業務	<p>関連調査では、文化財とその周辺の詳細把握と整理（聞き取り調査）、運営主体となる候補団体、人材調査、文化財等の利活用・運営事例の類型化、文化財懇話会では、懇話会の開催と概況、</p> <p>組織・しくみづくりの方向性（素案）では、実施計画（素案）検討の流れ、方向性の検討、方向性（素案）、今後の検討事項では、今後の地権者・市民の意向醸成・合意形成への取り組み、管理運営組織の発足とその後の取り組み、文化財調査による跡地利用計画の見直し等のルールづくりが示されている</p>	宜野湾市教育委員会（2008）平成19年度キャンプ瑞慶覧地区重要文化財保存整備実施計画作成業務報告書【概要版】，55pp+22pp.
平成20年度キャンプ瑞慶覧地区重要文化財保存整備実施計画（案）作成業務	<p>関連調査では、文化財とその周辺の詳細把握と整理（専門家との勉強会）、運営主体となる候補団体、人材の意向調査、文化財等の利活用・運営事例、普及・啓発及び合意形成活動では、文化財懇話会の開催、事例のめぐりの概況、参加者アンケート結果の考察、</p> <p>重要文化財保存整備実施計画（案）では、実施計画案の検討の流れ、これまでの文化財保存整備事業の整理、組織・しくみづくりの方向性に対する市の現状と課題・問題点、(仮称) 宜野湾市野外ミュージアムの考え方、組織・しくみづくりの方針案、実現化に向けた取り組み方策の検討</p>	宜野湾市教育委員会（2009）平成20年度キャンプ瑞慶覧地区重要文化財保存整備実施計画（案）作成業務報告書【概要版】，96pp+20pp.